

ロボカップジュニア日本大会2014埼玉大学

運営基本原則

2014.1.25 v.1 作成

2014.1.25 v.2 会場設営、撤収に関する項目を追加

多くの方々のご協力により大会準備を進めて行くにあたって、さまざまなご判断をいただく中で参考としていただく基本原則を整理しました。

これらの基本原則にもとづいて、各チャレンジにおいて準備を進めていただきますよう、お願いいたします。あくまで原則ですので、判断に迷われる場合や、基本原則自体についての疑問、よりよいご提案がありましたら、遠慮なくお願いいたします。

なお【要確認】の項目については、順次、解決してご案内していきます。

この文書は、今後、新規に決まった事、変更になった項目について適宜更改します。更改は、玉島が管理し、週に2回を限度(定例、火曜日の夕方。2回目は金曜日の夕方)に、日付バージョンを付して修正追加を行います。

(1)参加チームの資格、チーム数の下限設定について

今大会は、国内チームだけの参加とし、ブロック大会を経て選出されたチームとする。

・各ブロックに対して、各チャレンジ各カテゴリに最低1チーム枠を用意できることが原則

※2014年度の認定ブロック数は23ブロックですので23チームが最低チーム数となります

・2014年度のノード、ブロック実施状況調査表を元にそれを下回ることも可能

・現在の会場レイアウト案の範囲内で最低チーム数が確保できる運営プランを各技術委員会で検討いただく

・参加チーム数は多い方が望ましいが、それを下回らない範囲で、スタッフなどの確保が十分な範囲でチーム数は決定いただいて構いません

※当日、余裕のある運営を心がけられるように無理をしないようにお願いします

(2)各チャレンジでの競技、スタッフのスケジュール作成について

各チャレンジの技術委員会で、技術委員長から提出頂いた【2014 日本大会】準備物.xlsx、【2014 日本大会】運営資料.xlsx をもとに、スタッフの配置、スタッフ一覧や備品一覧の作成、調整備品のリストアップ、人員配置を担当していただく。

具体的には、

・21日の総会には実行委員(ブロック長)全員が参加できるように、スタッフの割り振りをあらかじめ検討していただきたい。

・21日のチームの来場については準備やミーティングを優先して必要最小限としていただきたい

・開会式については、開催する場所の確保が困難なこと、またスケジュールがタイトなことから、22日朝(ダンスは21日午後にも場合によって)にチームリーダーミーティングを行うことで開会式に代えたいと考えているので、各チャレンジともにミーティングを設定していただきたい

※そのミーティング自体は、全体で22日の朝の同じ時間帯に設定できるようであれば、全体に対してストリーミング配信によって、代表理事からの全体へのご挨拶などをさせていただこうと考えています。時間設定については無理のない範囲でチャレンジ間で調整可能かご検討ください。

・各チャレンジともに審判講習会をブロック、ノードでの運営者も含めて実施していただきたい(今後の地域での普及のために、できれば技術委員同士での交流を深めて欲しい)

・それ以外、可能な範囲で、各チャレンジにおいてチーム同士の交流を図る参加者向け企画、ブロック、ノードの運営者同士の技術交流を図る(上の審判講習会も含めた)企画について積極的に検討いただきたい

・理事会としては、今回、チーム同士の技術交流、ジュニアの活動の質向上を目指す活動として、「ポスタープレゼンテーション」および「口頭発表」について企画、運営をいたします。(理事野村担当)

(3) フィールド・アリーナの準備

・まずは関東近県ブロックを中心に借用によって用意する(輸送費は予算計画で見込んでいます)

※別途整理している備品リストに借用先も含めて整理して行ってください。その際、およびその輸送費も一緒に記入ください。

・フィールドやアリーナの種類の不揃いについては、不揃いがあることを前提に、チーム間での平等性が保てる運営方法を検討いただく

・どうしてもフィールドやアリーナが不足する場合には予算の範囲内で検討する

(4) 各チャレンジの備品、消耗品

・得点板、ストップウォッチ、下敷き板はジュニアジャパン保管分およびブロック、ノードからの借用により原則賄っていただく

※別途整理している備品リストに借用先も含めて整理して行ってください。その際、およびその輸送費も一緒に記入ください。

(5) プロジェクタ、PA 機器、PC の準備

・教室にはプロジェクタ、スクリーンが設置されており利用いただけます (VGA 接続)
※ただし、教育学部 A 棟 1 階の会議室、A 棟 3 階のセミナー室は設置されていません。
また、教室に PC は設置されていませんので、ノート PC などを別途準備する必要があります

・ダンスについては 100 インチを越すスクリーンが必要な場合はレンタルを検討する必要があります

・ワイヤレスマイクは、教室等で使用するポータブル型を数台は借りられます
※来場者への案内などで使えるよう各チャレンジの競技場所に配備するよう考えています

【要確認】ポータブルワイヤレスマイクの準備

※C101 教室は大講義室ですのでマイク設備もついています

・ダンスの PA 機器については、パソコンから PC 用小型スピーカーで音を出す程度であれば準備できますが、大型スピーカーを必要とする場合はレンタルを検討する必要があります

(6) 印刷物について、プリンタについて

印刷物は持参が原則とします。会場近くのコンビニなど印刷できる場所の案内は用意する。大学で印刷にあたっては以下を検討する必要があります。

【要確認】印刷原稿の提出期限

・会場案内、部屋案内など大会全体で必要となる掲示について用意する必要がある

【要確認】掲示一覧と掲示物データの作成が必要

・それ以外については各チャレンジでご用意いただくこととなります

【要確認】清算方法

・当日の印刷にはプリンタの準備が必要になりますがこれも借用で用意が原則

【要確認】プリンタの準備方法について検討が必要

(7) 会場設営、撤収について

・当日の準備作業に入る前に、各教室の写真などで備品の数、レイアウトの記録をとること

・撤収、片付けの際は、現状復帰をすること

・破損品、紛失品があった場合は速やかに報告すること

(8) 世界大会に関連して

2014世界大会はブラジルです。案内したように、ブラジルは今までと異なり、以下のよ
うな状況です。

- (1) 日本からの直行便はなく、乗り継ぎで2日かかります。
- (2) 旅費もかなり高額になります。
- (3) 入国にあたって、ビザが必要で、ビザ取得のために手続きも他国に比べ手数と時間がかかります。

http://nagoia.itamaraty.gov.br/ja/_rhhh.xml

今回、日本大会後の世界大会へ参加チームの参加手続きを迅速に進めるために、

(4) 日本大会エントリー前に、上記の状況を理解して頂いた上で、日本大会エントリー時に、選抜された時には世界大会に「参加する／しない」の意志表示をお願いします。

(5) そして、

日本大会の成績は、「参加する／しない」の意志表示とは関係なく決まります。

世界大会の参加チームは、「日本大会の成績をもとに、参加する」意志表示をされたチームを対象に選抜します。